

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	41	野沢北 高等学校	全日制 課程	普通・理数 科
----------	----	-------------	--------	---------

学校教育目標
教養を高め、知性を磨き、心身を鍛え、豊かな環境と平和な世界を希求し、地域社会に根ざした、社会の有為な形成者を育成する。
重点目標
1 互いの人格を尊重し、豊かな環境と平和を希求し、真理と正義を愛する自主的精神に充ちた人格の育成を図る。 2 120年超の伝統に培われた本校の教育力を発展的に継承し、人間性の陶冶と自己実現を図るための高い学力養成を目指す。

道徳教育の重点目標
1 自らの在り方や生き方を探求し、自己実現を目指す生徒を育成する。 2 他者と協働しながら、主体的に判断し、表現する力を養う。 3 自他の人格を尊重し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、基本的な生活習慣を身につけるとともに、互いの人格を尊重し合える人間形成を目指す。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○信州大学インターンシップ ○キャリア講演会 ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○合唱コンクール ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭	国語	言葉による見方や考え方をグループ活動や探究型授業の展開の中で涵養し、道徳的心情や判断力を育む。
					地理歴史	伝統や文化に対する理解を深めることによって、平和的で民主的な国家及び社会の形成者としての態度を育む。
					公民	国際平和や環境保全など、世界や地域の諸課題を主体的に解決していこうとする資質・能力を育む
					数学	数学的なものの見方・考え方をを通して、論理的思考を養い、知的好奇心や豊かな感性・客観的な物の見方ができるような力を向上させる。
2年	自ら考え、自ら判断する自立した人間として、他者を理解し、他者と協働することを理想とし、より良い社会を構築するための自覚と知識、またその実現に向かう行動力を身に付ける。	現代社会の諸問題に目を向け、自分の将来についての夢や理想を持ち、その実現の為に主体的に考え、行動する習慣を身に付ける。 ○進路研究 ○理数科課題研究 ○普通科探究 ○進路別科目選択	校内の主な活動場所であるHRをより良いものにしようという自覚を持ち、授業・清掃・行事等の場面で積極的に行動する態度を身に付ける。 ○合唱コンクール ○異文化学習（修学旅行事前学習） ○人権学習	班活動、生徒会活動の中心として自ら考え、自ら行動し、より高い目標を掲げ、他者と協働しながらひたむきに努力する態度を身に付ける。 ○班活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営	理科	自然の事象を探究する学習活動を通して、物事の真理を大事にしようとする態度や道徳的判断力を育成する。
					保健体育	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善すること、また、様々な運動経験を通して、ルールを守る、集団に参加し協力する、自己の責任を果たすといった態度を養う。
					芸術	芸術を愛好する心情を育て、感性を高め、豊かな情操を養うことにより、道徳性の基盤の育成を図る。
					外国語	外国語の文化的背景に対する理解を深め、様々な角度から物事を見る目を養うと共に、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。
3年	社会の構成者として、すべての人が尊重される社会を目指すべく、道徳的な心情を育て、社会の諸問題を解決しようとする、考察力・判断力・実践意欲・実践力を養う。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○合唱コンクール ○高校卒業後の在り方について	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○班活動の運営	家庭	生活に関する知識や技術、考え方を身につけて実践していく中で、さまざまな人との関わりを通して、他者への思いやりやともに生きる力を育む。
					情報	情報モラルを身に付け、社会や他者との関係において情報を適切に活用する能力と態度を育む。
					総合的な探究の時間	多面的なものの見方・考え方を身に付け、主体的・協働的な取組をとおして、自立した自己が協働する持続可能な社会で活躍できる力を育む。

家庭・地域との連携	- 公開授業や学校評議員会等を通し、地域社会との連携を深めながら、生徒が主体的に社会の形成に参画する態度を養う。 - 学年通信やホームページ等で学校の活動を伝え、家庭と連携しながら日常生活の中で、生徒が自他の人格を尊重し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
-----------	---